

公民館月報

K O M I N K A N G E P P O



特集 「平成25年度 当会運営の基本方針・事業計画」

4.5

- 2 トピックス 【素敵な笑顔で】 新潟県公民館連合会 会長・湯浅 康夫
- 3 視点 「学校と社会教育施設の複合化を」 新潟県小中学校PTA連合会事務局長・駿河 仁志
- 3 ひろば 「お酒も生涯学習ですよ」 聖籠町公民館運営審議委員長・大野 弘行
- 6 実践記録シリーズ 「ゆうゆう教室～集まれ！田上っ子！～」 田上町公民館
- 7 サークル交流 「ゲーム感覚で楽しめる「スポーツ吹矢」(柏崎市) / 「久しぶりにときめいたわ～」(糸魚川市)
- 7 素顔拝見 山野上良輔さん(弥彦村) / 渡邊 友司さん(津南町)
- 8 お元気ですか 加茂市・坪谷 綾子さん
- 8 惠贈資料紹介



刈羽村生涯学習センター「ラピカ」
生涯学習イベント 「吉田正記念オーケストラ 元気が出るコンサート」

表紙解説

クリスマスコンサートと題し、日本唯一のプロのムードオーケストラ楽団による“クラシックではない”コンサートの様子です。

【素敵なお顔を】

新潟県公民館連合会 会長 湯浅 康夫



本誌「新潟県公民館月報」

は昭和28年に創刊し、今月号で722号を発行するにいたりました。この長い間の継続

した発行につきましては、毎年の編集委員の皆さま、各コーナーへの寄稿のご協力をいただいた運営審議会委員やサークル等の皆さま、そして、事務局の大変なご苦労によるものと、敬意を表するものです。

さて、事務局では本誌を創刊号から保存していましたが、経年により劣化が著しいものもあり、全国公民館連合会から「地域活動支援事業」の指定を受け、その補助によ

り電子データ化として保存作業を行ってまいり、平成24年度で全て完了したところで

す。今後、順次ホームページに掲載し、何時でも、新潟県の公民館活動をご覧いただくことができますこととなります。

私もこのことをきっかけに、バックナンバーをひもといてみました。

創刊号などを見ますと、「短波教育放送、受信機購入は公民館で」、「公民館催物に入場税免除」、「自主性をもて公民館は大衆の力期待」、「盛り上がる公民館結婚」、「公民館予算年々増加の一途」、おもしろいところで、「教育長講習終わる。本会から清酒一たる贈り慰問」など、誠に力強い見出しが並んでいます。

時代は進み、最近の公民館の課題を的確に表すと思われる、新潟県公民館大会などの

各大会テーマはどのようなものなのか、紙面の都合上全てを列記しませんが、テーマの結びには、「挑戦、創造、求めて、めざして、役割、づくり、あり方、変わるか」など多く使用されています。

このことは当然ながら公民館の時々「意気込み」を表し、常に進化し続けている状況を示しているものと思います。このようなことから、公民館に関わる課題、問題や指摘が多くある中でも、関係者の資質向上と熱意で克服されるものと考えております。

平成19年4月新潟県公民館月報の全国公民館連合会事務局長石川正夫様（現常務理事兼事務局長）のご寄稿に次のようなことが掲載されていました。

学校教育では、教育基本法、学校教育法、同施行令、同施行規則、学習指導要領、教科

書等の改訂というように、子どもたちに教える教科の内容や時間配当等学年別に具体的に「変わって」いく。

一方、公民館の法的拠りどころは、教育基本法、社会教育法、同施行令、公民館の設置及び運営に関する基準等があるだけ。

学校では、法が変わると教育の中身までが大きく「変わる」、しかし、公民館は、社会教育の中核施設ではあるが、人々がより自由に、主体的に、創造的に、法の縛りを極力少なくしている。従い、法により公民館が「変わる」のではなく、私たちが公民館を「変える」のです。というものです。

このことは、先に述べた各種大会のテーマの変遷と、まさに意義を同じくするものと考えます。

次に、ご寄稿いただいた、

運営審議会委員やサークルの皆さま、そして職員のお顔の写真についてです。皆さまとても明るくそして清々しいお顔ではありませんか（私を除いて）。読者の皆さまもきっと私と同様に思われているに違いないと思います。

さすが公民館、社会教育に携わる皆さま、受講者や市民への第一印象、接する態度を十分にご承知のことが覗われます。皆さまの素敵なお顔を公民館活動が一層充実発展するものと思えます。がんばりましょう。

今年度は、第54回関東甲信越静公民館研究大会が、南魚沼市・湯沢町を会場に開催されます。是非、多くのご参加をお願い申し上げますとともに、素敵なお顔をぜひお会いしましょう。

視点

学校と社会教育施設の複合化を

新潟県小中学校PTA連合会
事務局長

駿河 仁志



学校に公民館と大きな図書館が併設されていたらどんなに便利だろうと思います。同じ敷地にあっただけでも利用度が高まり、双方の活性化が促進されるでしょう。

最近公民館に図書館が併設されているものが多いように思います。そこに学校から廊下などで簡単に行けたら理想です。学校では学習や職員研修などで学校図書館だけでは物足りないことがあります。集会や研修で部屋を多く使いたいこともあります。また、公民館に集まる多様な地域人材を学校教育に活用することもできます。人の交流で、学校は開かれ、いじめや不登

校が減るかもしれません。全ての学校がそのような条件に合うとは限りません。それにしても学校と社会教育施設はそれぞれ独立して建設されているのが普通です。学校は子どもの教育を、社会教育施設は大人の教育を行うのが本来の目的ということなのでしょう。併設することで施設や子どもの管理上の問題が出てくるにせよ、相乗効果の方が大きいと思います。

地域の教育施設の有効活用と教育環境の質の向上、地域の子どもの育てるといふ点から学校、公民館、図書館の複合化は一つの試みです。

H O T N E W S

掲 示 板

「本紙編集委員会開催される」



編集委員 左から船山(新潟市)五十嵐(胎内市)小池(上越市)

3月8日(金)に新潟市中央公民館で、本紙の第2回編集委員会が開催されました。

紙面構成について次の意見がありました。

- (1)8ページの構成(お元気ですか、恵贈資料紹介、インフォメーション、ネットワーク、広告、編集長のつぶやき)は現状の内容を維持する。
- (2)「お元気ですか」は1年経過したが、おおむね好評。執筆者は市町村職員OBが多いが、公民館利用者等の一般執筆者の選定を多くする。
- (3)紙面構成に写真を多く取り入れる。

次回会議は7月5日(金)の予定です。



左は司会の田原編集長

「お酒も生涯学習ですよ」

ひろば

聖籠町公民館運営審議委員長 大野 弘行

維新の英傑 西郷は、「朝にして食(くわ)わざれば、即ち昼にして饑(う)え、小にして学ばざれば、則ち壯にして惑う饑(う)え。惑う者はなお忍ぶべし。惑うも者は奈何(い)かん」ともすべからず。」を座右の戒めの言葉の一つに掲げています。これは学ぶことの大切さを説いています。さて、何を学ばいいのか? いったいどの程度か? (流行は「今でしょ」ですが)と考える人も少なくないと思います。公民館や図書館(町では新しい図書館建設が進行中)が大切な場となると思います。さて、今年は何年より寒かったのでしょうか。こもる人も多かったと思います。と言う事で、自宅でお酒を飲む時間も多かったのでは? 私は○△嫁と戦いな

がら、生涯学習の一つとして、焼酎、ウイスキー、ワインのことを、勉強勉強とお口に運んでいました。飲んでいる筈なのに吞まれているのが我が人生? 亡父には「酒に飲まれるな」と厳しく教えられました。が、あ残念。来年は「新潟酒の陣」も生涯学習の場としてとらえ活用して大いに吞みたい、いやほどほどに学びたい。



運営の基本方針・事業計画

の相互交換により、公民館事業の活性化に努める。

- ① 新潟県公民館月報の販売促進（自主購読の促進）と紙面内容のさらなる充実
 - ② 全公連の情報を得ながら、関ブロ公連、地区公連との情報交換の促進
 - ③ 研修資料等の作成・配付
 - ④ 新潟県公民館月報のデータ化 平成24年度3年目(完了)。データをホームページにアップロード（随時）
- (4)主催事業、関係事業の実施と支援
県公民館大会の開催、関東甲信越静公民館大会開催準備と開催、各地区公連研修会等の開催と支援
- (5)本会運営上の体質強化
- ① 新潟県市長会、町村会及び全国公民館連合会への援助・要望
 - ② 自主財源確立のための調査検討委員会の活動継続

3 事業計画

(1)役員会

- ①評議員会……………年2回開催
第1回 5月16日(木)南魚沼市
第2回 2月20日(木)新潟市
(平成26年)
- ②理事会……………年3回開催
第1回 5月16日(木)南魚沼市
第2回 6月12日(木)新潟市
第3回 2月20日(木)新潟市
(平成26年)
- ③監事会 5月8日(木)新潟市
- ④正副会長会……………必要に応じて
- ⑤関ブロ実行委員会
第8回 5月16日(木)南魚沼市
評議員会と同じ

(2)専門委員会

- ①編集委員会……………年2回（6月、2月）
- ②自主財源確立のための調査検討委員会 年2回（8月、12月）…必要に応じて

(3)上部組織連絡会議・研修

- ①全国公民館連合会総会
……………年1回 会長、事務局長参加
 - ②全国公民館連合会理事会
……………年3回 会長参加
 - ③関東甲信越静公民館連絡協議会理事会
……………年2回 会長、事務局長参加
 - ④関東甲信越静公民館連絡協議会理事研修会
……………年1回 会長、事務局長参加
- (4)大会、研修会、講習会への参加
- ①公民館運営審議会委員研修及び初任・中堅職員研修
～上・中・下越ブロック別実施～
 - ②第64回新潟県公民館大会
8月29日(木)南魚沼市民会館
 - ③生涯学習職員指導者研修会（参加協力）
県立生涯学習推進センター
 - ④生涯学習実践研修（参加協力）
県立生涯学習推進センター

〈以下上部団体研修〉

- ⑤第54回関東甲信越静公民館研究大会
8月29日(木)～30日(金)
南魚沼市民会館
- ⑥第35回全国公民館研究集会
10月17日(木)～18日(金)
富良野市文化会館
- ⑦第25回公民館全国セミナーへの参加
平成26年2月
国立オリンピック記念青少年総合センター
- ⑧関東甲信越静公民館連絡協議会
第1回理事会 5月16日(木)～17日(金)
南魚沼市民会館
第2回理事会11月15日(金)
理事会・研修会 東京八重洲会館
第3回理事会平成26年2月 埼玉県

*資料、刊行物の発行・斡旋 連携団体は省略

特集

「平成25年度 当会



事務局長 田原 理

2月15日(金)に理事会と評議員会が開催され、平成25年度の本会活動基本方針が承認されました。これに基づき、5月に開催される今年度の第1回理事会、評議員会を経て今年度の事業が始まります。この概要は3月号「トピックス」に掲載しましたが詳細を次に述べます。

1 基本方針

現在わが国では生涯にわたる学習活動が大変活発で、公民館を利用し学習している人々は全国で2億5千万人、本県でも315万人(平成24年度県生涯学習・社会教育の現状調査)に上っています。しかし、これだけの利用者がありながら、その一方で、公民館は「貸館」と揶揄されたり、公民館「不要論」が叫ばれるような現実があります。各公民館ではこのような現実を受け止め、地域社会における様々な変化に対応した公民館運営や事業の展開が強く求められています。

また、県内の公民館では市民センターやコミュニティセンター的機能の導入等により、多機能・複合化の動きが続いています。このことへの移行にあたっては、これまで公民館が果たしてきた「身近な地域で共に学ぶ」「人づくり、居場所づくり・地域づくり」の拠点施設として機能するのかどうかを慎重に吟味しなければなりません。地域の実情を勘案し、公民館が担うべき役割や位置づけを明確にする必要があります。

県公連の運営では、新潟県町村職員退職手当組合の解散に伴う脱退精算負担金の返済がまもなく10年に達し、平成25年度で完済します。しかしながら、「公民館月報」の購読数減など財政的に厳しい状況は変わりません。

大会、研修会等の開催については、県公民館大会も含め、参加者の資質向上と組織の団結力等を高め連帯感の醸成を図ることに大きな意義がある

ことから一層の充実が求められます。また、平成25年8月に開催される第54回関東甲信越静公民館研究大会新潟大会の開催にあたり、その準備に確実に取り組み総力を結集して大会の円滑な運営に務める必要があります。

これらの取り組みを主として、さらに、公民館が生涯学習推進の中核施設として学びの拠点、地域づくり・人づくりの拠点として一層重要な役割を果たすため、各行政機関・組織と連携し、地域住民の理解・協力を得ながら、次の5点を重点施策として取り組みます。

- (1)関係上部組織とのより一層の連携強化
- (2)職員の資質向上を図る研修事業の実施
- (3)情報収集の充実、提供
- (4)主催事業、関係事業の実施と支援
- (5)財政基盤の強化(自主財源確立への努力)

2 重点事業

- (1)関係上部組織との連携強化
急速な社会情勢の変化に対応するため、関係組織との連携強化を図る
 - ① 全国公民館連合会研修等諸事業への参加・協力
 - ② 関東甲信越静公民館連絡協議会との連携強化、本大会の運営
 - ③ 新潟県社会教育団体懇話会等、新潟県社会教育行政機関・団体との連携
- (2)研修事業の充実
上・中・下越地区公連役職員研修の共催及び県立生涯学習推進センターの研修事業への参加により、効率的な研修を推進し、職員の専門的知識・技能の向上を図る。
 - ① 上・中・下越公連別職員、公運審委員等の実務研修の実施
 - ② 公民館長、職員の専門的資質向上研修
 - ③ 県立生涯学習推進センターの研修事業への積極的な参加
 - ④ 研修資料の作成・配付
- (3)情報提供事業の充実 情報の収集、提供
多様な学習機会の提供・開発に関する情報

実践記録

181

シリーズ

ゆうゆう教室～集まれ！田上っ子！～

田上町公民館

○ゆうゆう教室とは？

小学生の子どもや親子を対象に毎月一回、主に土曜日に町内の各施設で様々な内容の活動や体験学習を行っている、田上町公民館を代表する事業の1つです。

○事業のねらい

レクリエーション、自然体験、創作活動等を通して、「楽しむ」ことの中から、子どもたちの自主性、協調性、創造性及び豊かな情操を育むことを目的としています。

○参加者の募集方法・実施方針

年度初めの4月に、町内の小学校を通じて「ゆうゆう教室登録募集」の案内を配布し、公民館で受け付けます。その後は、登録した児童宛に月ごとに事業の案内を同じく小学校経由で配り、参加希望者を公民館で取りまとめます。ちなみに、未登録者も毎月発行している公民館だよりの記事で月ごとの事業内容を知ることができ、年度途中での登録も可能です。

また、会場は基本的に田上町内とし、事業内容によっては参加費（材料費等、実費のみ）を徴収することもあります。



○活動事例

平成24年9月の回では、会場の田上町コミュニティセンターに新潟県立歴史博物館研究員の山本哲也さんを講師としてお招きし、縄文時代から古墳時代頃まで作られていたとされる装身具「まが玉」を作る体験教室を開催しました。親子で63名もの参加があり、当日は講師の方がお話しするまが玉についての説明に、集まった参加者は皆、興味津々。その後、四角にカットされた石材をやすりで丸く削る作

業を各々で進め、デザインも形も世界でたった一つの自分だけのまが玉を完成させました。

平成25年1月の回では、フリーマーケットを実施しました。年明け最初ということで、参加した34名の小学生の子どもたちが年末年始の大掃除で自宅から出てきたリサイクル品を持ち寄り、「ゆうゆう教室専用通貨」を使って自分のお店の商品の販売と友達のお店での買い物を楽しみました。自分が持参した商品の値段をいくらにしようか迷っている子や、おもちゃや文房具、図書など目移りしてしまう商品の数々を前にどれを買うか悩む子など、反応も様々でしたが、「本格的なおみせ屋さんごっこ」を通してお金の使い方を学び、ちょっぴり大人の気分を味わえた子どもたちはとても満足そうな顔をしていました。

○連携先・協力先

新潟経営大学教授の中島純先生に講師の方を紹介していただいたり、同大学の生徒や留学生の方と共にボランティアスタッフとして事業に加わっていただいています。

○現状の課題と今後の展望

スタッフとして参加するボランティアの事業への定着度をさらに高めたい、というのが課題です。現状、ボランティアとして来てくれる学生や一般の方の人数やメンバーもその都度バラつきがあり、定着度はまだまだ高いとはいえません。参加する子どもたちの側としても、年の離れたお兄さん、お姉さんや外国から来た留学生との交流はとても刺激になると思います。

また、当事業は長年同じ担当者が企画・運営に携わっているため、今後は計画の段階から積極的に関わってくれるボランティアを多く呼び込める体制を目指したいと思います。（牛田 記）





「ゲーム感覚で楽しめる」「スポーツ吹矢」

海 柏崎吹矢支部

ゲーム感覚で楽しめる「スポーツ吹矢」、円筒形の筒にフィルム製の矢を入れ一気に吹きの当てる合点競う競技です。三年前有志六名で支部を結成し現在三五名の会員が毎週末曜日市の施設をお借りし活動しています。主たる目的は会員相互の繋り、心肺機能の強化、更には腹式呼吸をする事から内臓機能を活発にし精神集中力をアップすると言う医学的にも体に良い事が立証されています。生涯学

ゲーム感覚で楽しめる
「スポーツ吹矢」

海 柏崎吹矢支部

習の一環とし地域の高齢者から子ども迄、年齢、性別、障害の有無を問わず手軽に楽しめるスポーツとして今脚光を浴び各種イベントや老人会、子ども会等から依頼を受け出張指導等にもあたっています。

柏崎市・海の柏崎吹矢支部
代表 大和興太郎 記



くつばしに

とじめいたわ

上南レディース

上南地区公民館のリニューアルとともに、産声を上げた平均年齢60歳の熟女(笑)ダンスチーム。日頃の運動不足が解消でき、20代の体型に戻れるかもと一縷の望みを持ちダンスで夢をかなえようと自



糸魚川市・上南レディース

藤岡 智子 記

己啓発。重い体をフル稼働させレッスンに臨んだ春。夏、あふれんばかりの汗をかいたあとの納涼会のビールが進んだこと。ダイエットの夢はどこへやら。地域の行事に参加要請し、「人前で踊るなんて」と躊躇したもの「みんなを出ればこわくない。」と初めの一步を踏み出した秋。平凡な毎日に忘れていたときめきが蘇る。冬、要請があればどこへでもと今じゃ図々しいほどのパワー。ダンスで生活に張りができ仲間とのつながりが深まり、春からまた頑張るぞと意気込んでいます。

津南町公民館、いや津南町を代表する『育メン』ではなく『育じい』こと、公民館長の渡邊友司さん(通称:ともじいさん)をご紹介します。

家に帰れば、四世代同居の大家族。まさに育じい実践真っ只中。町民や職員にだけでなく、何事にも常に広い心で温かく見守ってくれている、公民館のお父さんの存在です。

ともじいさんはノミューニケーション大好き人間、先日

津南町公民館

渡邊 友司さん



も今年の成人式の実行委員8人(当然全員20歳になりたて)との懇親会、まったくジェネレーションギャップを感じさせないみごとな飲みっぷり。さらには温泉大好き人間で、飲み会の前には必ずクアハウスで一汗かいて臨みます。うまいお酒の飲み方知っていますね(笑)。

(生涯学習班長 高橋 隆明 記)

弥彦村公民館に勤務して2年目の、山野上さんをご紹介します。

公民館に配属される前は、住民福祉課、産業振興課を経験し、採用5年目の年度を終えようとしています。若いエネルギーを活かして、来館される方々に優しくフレッシュな対応をしてもらっています。

公民館講座の開催から文化会館の管理運営、会計事務な

弥彦村公民館

主事 山野上良輔さん



ど、毎日大忙しの山野上さん。中越地区公民館連絡協議会の主事部会役員としても頑張ってもらっています。誰もが、いなくてはならない職員だと思っ期待しています。

これからも幾多の困難を乗り越えて、ますます活躍の場を広げていってくださいね。

(弥彦村公民館 石黒 和子 記)

素顔拝見

恵贈資料紹介

「文芸みなみ風 第4号」

「文芸みなみ風」は、新潟市の政令市誕生に合わせて編集委員会を再編し、「南区」の取り組みとして、旧市村の枠を超えて一体感を醸成する一助を願い発刊しています。(4号の巻頭言から引用)



発行 白根文化協会 白根地区公民館
編集 白根文化協会文芸部会

市町村合併後の第4号の発行で平成24年度版となっています。全編150ページに7部門で112人の作品が掲載されています。内容は、(随筆)(コント)(小説)(短歌)(俳句)(川柳)(詩)が掲載され多種多様な作品構成で随所に会員による挿絵が入っていることも特徴です。

問い合わせ 950-1477 新潟市南区田中383番地
白根地区公民館 電話 025-372-5533

「はぐくみネットワーク第8集」

子どもたちの健やかな成長を願って活動している県内グループの活動事例集「はぐくみネットワーク」第8号が刊行されました。全編144ページで構成され、上、中、下地域から24市町村で展開された市町村教育委員会、社会教育関係団体、市民団体等の73事業が事例紹介されています。各地の活動の充実やネットワーク化に役立つ豊富な事例紹介の冊子です。



発行 新潟県地域家庭教育推進協議会
新潟県教育委員会

問い合わせ 950-8570 新潟市中央区新光町4-1

新潟県教育庁生涯学習推進課
電話 025-280-5617

お元気ですか

坪谷 綾子 (加茂市)



「ババー!」「ババー!だっこ」「ババー!ピピ(鉛筆のこと)」「ババー!ミッキー(ミッキーマウスのビデオが見たい時)」。

退職して、6年が過ぎようとしている。やりたかったレクダンス・太極拳そして卓球と、週3回のサークル活動で健康維持のため充実した日々を過ごしています。

たくさんの人とも出会い、知り合いになりました。十人十

色のいろいろな人がいることも改めて痛感しました。

朝晩は家の周りの草取り。そして少しの畑。くわも持った事がなかったけれど、本を見たり、近所の畑のベテランに聞いたり、元々好きなのであれもこれもと植えてみました。ダイコンはミニでもアスパラ菜が細くても、とても美味しい。

一昨年、孫が生まれ、一日がアッという間に過ぎ、夕方になると疲れがドドー!。「楽しめばいいのよ」と人に言われたけれど、楽しんでいるひまがあるようでないような。でも、トイレに行く時もついてくる孫は本当にかわいい。

私なりに孫育てを楽しもう!

※「お元気ですか」のコーナーは現役をリタイアした方がその後元気に活動している様子を紹介するコーナーです。

美しい国土と豊かな環境を未来の世代に

過疎地域には、安心・安全な食料や水の供給、エネルギーの提供、国土の保全、災害の防止、地球温暖化の防止等のほか、都会の人々のやすらぎや教育の場として、国民全体の安全・安心な生活を支える極めて重要な公益的機能があります。

私たちは、過疎問題の解決を国民全体の課題と捉え、継続した取り組みが必要であると考えています。

新潟県過疎地域自立促進協議会

会長(出雲崎町長) 小林 則 幸

新潟市中央区新光町4-1 新潟県自治会館内

TEL 025(285)0041 FAX 025(285)1609

◆新潟県内の過疎市町村(14市町村)

長岡市、上越市、柏崎市、十日町市、村上市、糸魚川市、妙高市、佐渡市、魚沼市、阿賀町、出雲崎町、津南町、関川村、粟島浦村

事務局長のつぶやき

4月は新しい出会い、出発のときです。

かつての名漫才師「ミヤコ蝶々」は、夫婦漫才で相手の「南都雄二」が舞台の失敗で「もうアカンわ」と弱音を吐いたとき、「誰でも始めは初心者なんや。みんな汗かいて坂道を

上つてるんやないかい。わたの手を離さんと一緒に上る」と励ましてその後名コンビになったそうです。
新しい職場で出発する人には、同僚の温かい励ましはよりです。手を握ることは別にして。(田原)